

お知らせ
します



市の家計簿

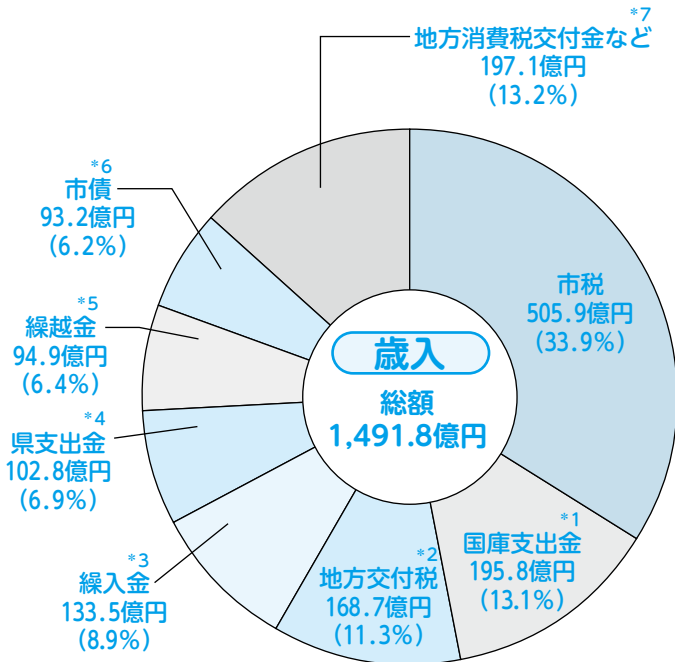
①平成30年度

決算のあらまし

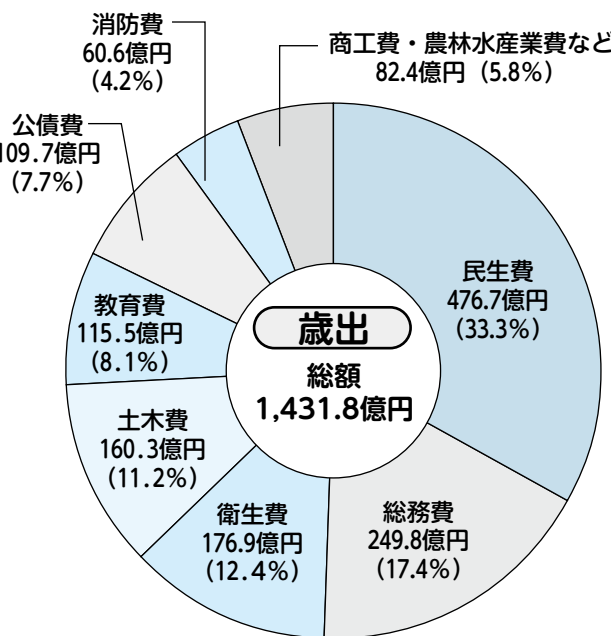
市では「いわき市財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、財政状況を明らかにするため、①平成30年度決算のあらましと、②令和元年度予算上半期（4月1日～9月30日）の執行状況を作成・公表しています。

今月号では、公表している内容の概要をお知らせします。

※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げが合計と一致しない場合があります。



- *1 特定の目的のために国から交付されるお金
- *2 一定水準の行政サービスを提供するために国から交付されるお金（震災からの復旧・復興分を含む）
- *3 各種基金などから繰り入れるお金
- *4 特定の目的のために県から交付されるお金



- *5 前年度の会計から持ち越されたお金
- *6 市が行う大規模な建設工事や災害復旧事業などに認められる借入金
- *7 国で集めた地方消費税を各都道府県で清算し交付されるお金

市民1人当たりの市民サービス



復興交付金を活用した主な事業 (単位：億円)

事業内容	復興交付金
災害公営住宅家賃低廉化事業	9.8
豊間地区津波防災公園整備事業（施設整備）	3.1
復興道路整備事業（効果促進事業）	1.9
東日本大震災特別家賃低減事業	1.1
市立集会所整備事業費ほか	2.4
事業費の確定に伴う国への返還金	58.4
合計	76.7

復興基金を活用した事業 (単位：億円)

事業内容	復興基金
津波被災住宅再建支援事業	1.7
小規模給水施設整備事業費補助金	0.8
自転車道路網整備事業費	0.5
震災メモリアル事業費	0.1
合計	3.1

一般会計

福祉や教育、土木など市の一般的な事業の大部分を経理する会計（震災の影響により規模が大きくなっています）

平成30年度の一般会計決算額は、歳入総額が1,491億7,979万円（対前年度比4.2%減）、歳出総額1,431億7,934万円（対前年度比2.1%減）でした。このうち、令和元年度へ繰り越した事業に充当した財源を差し引いた実質的な収支は、48億2,254万円の黒字となりました。

歳出の主な事業と費用 (単位：億円)

区分	事業内容	事業費
総務費	国県支出金等過誤納返還金	62.0
	生活保護費	72.7
	障害福祉サービス事業費	54.2
	児童手当給付費	51.5
	療養給付費負担金	34.3
民生費	私立保育所施設型給付費	33.3
	児童扶養手当給付費	15.6
	ごみ処理施設整備費	54.0
	ごみ収集処理費	33.9
	病院事業費	24.8
衛生費	下水道事業費	36.4
	復興道路整備事業費	10.5
消防費	除去土壌等管理・搬出推進事業費	20.1
教育費	給食センター施設管理運営費	22.8

特別会計

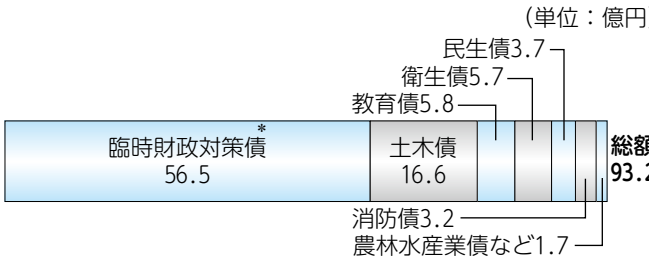
国民健康保険事業など特定の事業を行う場合、特定の歳入（国民健康保険税など）をもって特定の歳出（医療費など）に充てる会計

(単位：億円)

会計名	収入済額	支出済額	差引額
国民健康保険事業	318.1	317.5	0.6
後期高齢者医療	38.3	38.2	0.1
介護保険	312.5	304.1	8.4
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.6	1.4	0.2
土地区画整理事業	52.2	51.0	1.2
卸売市場事業	3.1	3.1	0.0
競輪事業	213.4	211.2	2.2
財産区（6財産区）	5.3	5.1	0.2
合計	944.5	931.6	12.9

市債使い道

市債を活用して整備した道路などは、皆さんが将来にわたり利用するものですので、返済は次の世代の方々にも負担してもらうという考えに基づいています。



* 地方一般財源の不足に対応するため、地方財政法の特例として発行される地方債

市債を活用した主な事業

区分	事業内容
土木債	道路改良事業 都市公園整備事業
教育債	文化センター耐震化事業 スポーツ中核施設機能強化事業
衛生債	上水道事業 火葬場整備事業
民生債	公立保育所整備事業

企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

(単位：億円)

会計名	収益的収支 ^{*2}			資本的収支 ^{*3}		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道事業	103.4	79.0	24.4	28.6	74.8	▲46.2
病院事業	208.1	208.7	▲0.6	181.5	186.6	▲5.1
下水道事業	81.0	79.9	1.1	36.5	64.2	▲27.7
地域汚水処理事業	1.6	1.3	0.3	0.0	0.1	▲0.1
農業集落排水事業	2.6	2.8	▲0.2	0.8	1.6	▲0.8
合計	396.7	371.7	25.0	247.4	327.3	▲79.9

*1 減価償却費や資産減耗費など、現金支出を必要としないものを費用に計上することによって、企業内部に留保される金額

*2 1事業年度の経営活動により、発生が予定される収益とその費用

*3 将来の経営活動に備える建設改良や建設改良の企業債償還金などの支出と、その財源収入

令和元年初秋の叙勲・褒章 第33回危険業務従事者叙勲

＝年齢は11月3日現在。50音順・敬称略＝

令和元年度 技能功労者・優良技能者表彰

＝年齢は11月1日現在。50音順・敬称略＝

技能功労者

- ▷遠藤辰也(55)＝左官 内郷高坂町
- ▷大津美喜夫(76)＝電気 田人町旅人
- ▷大庭淳二(66)＝広告美術工 内郷白水町
- ▷佐川英世(79)＝自動車整備工 好間町下好間
- ▷佐川浩己(58)＝造園工 常磐西郷町
- ▷平浩司(58)＝鳶工 平

- ▷武山一郎(61)＝石材加工 洋向台
- ▷益子保(67)＝塗装工 平谷川瀬
- ▷松崎清(67)＝畳工 四倉町
- ▷美野光造(70)＝配管工 錦町
- ▷若松洋(66)＝鉄骨階段製造工 中央台

優良技能者

- ▷河村直典(47)＝調理師 四倉町
- ▷佐川寛(49)＝電気 小名浜
- ▷新妻孝志(46)＝配管工 石森
- ▷根本将人(42)＝石材加工 小名浜大原

- 瑞宝双光章
▽折笠勝(78)＝元市消防団分
- 瑞宝双光章
▽小野道雄(73)＝保護司 平
- 瑞宝双光章
▽西山和枝(72)＝元調停委員 小名浜
- 旭日小綬章
▽猪狩正明(73)＝(一社)県法人会連合会会長 四倉
- 瑞宝双光章
▽渡邊敬夫(73)＝元市長 平
- 瑞宝双光章
▽豊間 泉崎

- 黄綬褒章
▽木村壽夫(75)＝(有)寿設計代表取締役 郷ヶ丘
- 瑞宝双光章
▽今野和男(58)＝日産自動車(株)いわき工場製造課保全グループ勤務 泉ヶ丘
- 瑞宝双光章
▽鈴木滋(72)＝元市消防団分団長 遠野町入遠野
- 瑞宝双光章
▽鈴木とみ子(73)＝民生・児童委員 小川町柴原
- 瑞宝双光章
▽山野邊功(76)＝元市消防団分団長 平上片寄
- 瑞宝双光章
▽赤津金一(68)＝元市消防司令長 勿来町
- 瑞宝双光章
▽麻原好三(71)＝元県警部平下神谷

叙勲

褒章

危険業務従事者叙勲

- 瑞宝双光章
▽黒澤正明(65)＝元市消防監 四倉町
- 瑞宝双光章
▽佐藤宣夫(71)＝元警視正 中央台
- 瑞宝双光章
▽根本富夫(65)＝元法務事務官 錦町

決定 第42回吉野せい賞

＝年齢は11月9日現在。受け付け順・敬称略＝

奨励賞

- ▷小説「朔北の人々」＝小磯匡大(37) 平谷川瀬
- ▷小説「支店長、臨月です！」＝高橋健(60) 泉町黒須野
- ▷小説「風」＝関口卓男(64) 平赤井

青少年特別賞

- ▷小説「梅雨空」＝山田萌乃(平一中3年)
- ※今回、吉野せい賞(正賞)、準賞の該当作品はありませんでした。

第43回吉野せい賞作品募集ポスター

- ▷最優秀賞＝永山桃花(平三中3年)
- ▷優秀賞＝佐藤凜静(平一中2年)
- ▷優秀賞＝伊藤向日葵(平三中3年)
- ※最優秀賞の作品は、第43回吉野せい賞作品募集ポスターとして使用します。



同ポスター最優秀賞の永山さんの作品

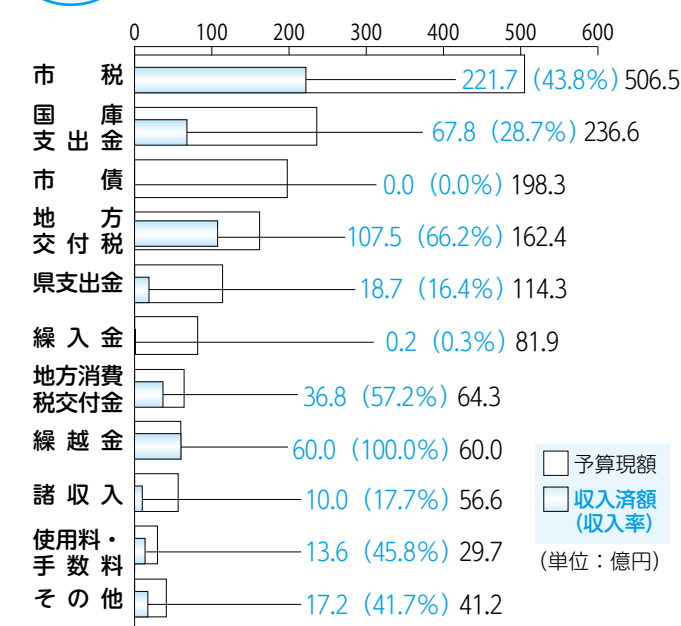
②令和元年度予算上半期の執行状況

一般会計

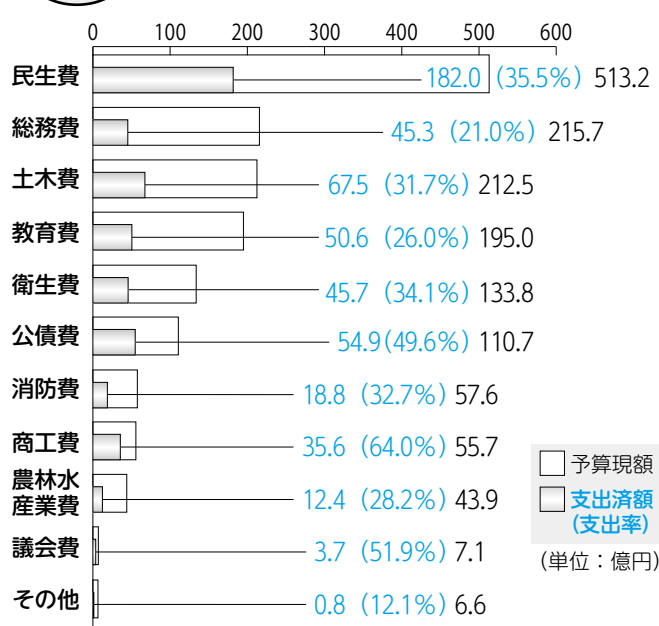
令和元年度9月末現在の一般会計予算は、当初予算額1,363億2,116万円に、補正予算額など188億5,445万円が加わり、1,551億7,561万円となっています。

また、同日現在の収入率は35.7%、支出率は33.3%で、前年度同期に比べて、収入では9.7ポイント、支出では1.7ポイント低くなっています。

歳入 予算現額 1,551.8億円
収入済額 553.5億円 (収入率35.7%)



歳出 予算現額 1,551.8億円
支出済額 517.2億円 (支出率33.3%)



特別会計

会計名	予算現額	収入率 (%)	支出率 (%)
国民健康保険事業	309.1	38.9	36.2
後期高齢者医療	39.0	32.9	29.8
介護保険	322.6	46.0	40.3
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.6	40.7	34.3
土地区画整理事業	24.0	7.8	31.7
卸売市場事業	4.3	28.4	28.4
競輪事業	160.5	17.0	18.0
財産区 (6 財産区)	2.3	48.6	31.5
合計	863.5	36.4	33.9

企業会計

会計名	収入予算額	収入率 (%)	支出予算額	支出率 (%)
水道事業	138.1	33.6	198.0	20.3
病院事業	278.0	38.6	296.6	32.5
下水道事業	142.7	40.2	162.9	21.8
地域汚水処理事業	1.6	30.3	1.6	19.4
農業集落排水事業	3.6	43.1	4.6	27.6
合計	564.2	37.8	663.5	26.1

一時借入金現在高

一般、特別、企業の各会計とも0円

市債の現在高

区分	現在高	主な内訳
一般会計	1,096.9	臨時財政対策債526.5、一般単独事業債284.3、公営住宅建設事業債68.3、公共事業等債65.6、学校教育施設等整備事業債43.5、上水道出資債29.1、退職手当債など79.6
特別会計	76.2	土地区画整理事業債など76.2
企業会計	1,180.9	下水道事業債602.3、水道事業債など578.6
合計	2,354.0	

市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。○お問い合わせ 財政課財政経営係 ☎22-7420